

平成 29 年度 第 3 回学校運営協議会

地域連携部会 会議録

平成 30 年 3 月 23 日（金） 16：40～17：00 本校応接室

出席者 網屋 直昭（川崎市立南生田中学校長）
米田 正美（川崎市立長沢小学校校長）
末吉 一夫（長沢自治会会長）
各務 雅彦（百合丘高校 P T A 会長）

職員 藤原 敬子（校長） 富士川裕司（副校長） 廣幡 清広（教頭）
茜谷 靖公（生活支援） 齋藤 豊秀（活動支援） 栗原 道夫（渉外）
河村 正（渉外）記録係

開会のあいさつ

部会長あいさつ

- ・地域活動へのご協力に感謝する。
- ・長沢地区では小中高と地域が連携しており、市内ではあまりない取組みで評価できる。
- ・地域への貢献しようとする気持ちが基本である。
- ・例年の秋の校外清掃や、今年の冬の学校周辺道路の雪かきも評価できる。地域が高齢化していることもあり、高校の協力が必要となっている。
- ・地域と地域にある学校との互いにメリットのある関係が大切である。

実施報告：地域関連行事

①「やまゆり鑑賞会」について

- ・7月9日（日）に実施。期末試験後だったので、生徒も様々な形で参加することが出来た。
- ・100名以上が参加。地域の年配の方々が多かった。
- ・新聞で2回取り上げられた。

②「ながさわにこここハーモニー」について

- ・第6回となり、コンパクトで円滑な運営が出来た。
- ・学校だけでなく、地域にあるチアのキッズチームの参加もあり、地域との連携が充実した。
- ・TVKテレビの取材をうけ、地域紹介番組の中で紹介された。

実施報告：別添資料による部活動における取組みについて

意見・要望

- ・社会福祉協議会の活動でも、民生委員のなり手がいない問題がある。地域の活動でも、「やるのが当然」ではなく、「やる気と楽しみ」が必要である。
- ・地域住民が自分の情報を発信することや、地域をオープンにして、災害時の協力関係を作ってゆくことが必要である。
- ・長沢小学校でも、落ち葉の清掃や花づくりなどの活動をしている。
- ・評価会議で話し合われた「夏休みの学習活動」が協力して出来ると良い。

閉会のあいさつ